

	家庭数
保護者の皆様	令和6年2月9日 (2024年)
	吹田市立山田第二小学校 校長 真部 美保

令和5年度 学校アンケート集計結果について（お知らせ）

立春の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より、本校の教育活動にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。さて、11月に実施いたしました「学校アンケート」には、多くのご回答をいただき貴重なご意見を聞かせていただくことができました。ご協力いただき誠にありがとうございます。アンケートの集計結果については、今年度の本校の教育活動についての成果と課題を検証する資料とさせていただきます。今後とも、本校の教育活動の充実のために、保護者の皆様にはより良き理解者として、引き続きご支援ご協力をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。なお、このアンケート集計結果につきましては、学校ホームページにおいてもご覧いただけます。

～保護者向けアンケート結果～

①教育情報の発信（質問項目1～5）

具体的な取り組み

○参観3回予定（ミニ音楽会含む）、学級懇談会3回予定、土曜参観、一日参観、水泳参観（夏休み作品展）、運動会、個人懇談2回 ○学校日より、学年日より ○学校ホームページ（「山二の子どもたち」で学校生活の様子、いじめ防止基本方針、学校アンケート、全国学力・学習状況調査報告）

結果と今後の方策

今年度、全項目において肯定的回答は87％以上、加えて3項目については92％以上の肯定的回答が得られました。5項目中一番肯定的回答が高かったのが、「学校では、授業参観や行事を通して、子どもの様子がわかるような機会を、多くもっている。」の96.0％で、且つ、この項目は5項目中、肯定的回答の割合が昨年度より一番伸びた項目です。今年度は運動会、ミニ音楽会などの学校行事がコロナ前の形で実施でき、保護者や地域の皆様にも参観していただいたことがこの数値に繋がっていると思われます。来年度以降も例年通りの形で学校行事が実施でき、保護者や地域の皆様に学校の様子を見ていただくことができればと願うばかりです。また、今後もご家庭や地域への連絡を丁寧に行い、積極的に情報発信してまいりたいと考えております。

②学ぶ力の育成（質問項目6～9）

具体的な取り組み

○「自分の考えや思いを書き、書くことが好きになる。」という研究目標で国語科を中心とした授業研究、各教科の教材研究 ○学校図書館の本を活用した学力向上の取り組み ○情報機器を活用した授業 ○基礎学力の定着、主体的に学習できる学習規律・学習形態の工夫 ○あゆみの評価規準と見方の説明

結果と今後の方策

4項目の内、昨年度より肯定的回答の割合が上がったのは、「学校は、楽しく分かりやすい授業づくりに力を入れている。」の87.0％（昨年度より2.9％アップ）の1項目で、残りの3項目「算数における少人数指導やTT（Team Teaching）は効果的である。」「あゆみは、子どもの学力や達成度を適切に評価できるように作られている。」「先生たちは、学校生活の中で、子どもの努力したことを認めてくれている。」は、昨年度より肯定的回答の割合が2～3％下がりました。その中でも「あゆみ」の項目につきましては、肯定的回答が77.2％（昨年度より2.9％ダウン）と、80.0％を切る結果となりました。評価については、毎学期末の「あゆみ」をお渡しする際に、「評価規準と評価方法について」と題したプリントも配付しておりますが、今後は皆さまから頂いた結果を真摯に受け止め、評価規準や評価方法を見直してまいりたいと考えております。

③豊かな心の育成（質問項目10～15）

具体的な取り組み

○年間目標、月間目標（全校朝会、「輝け山二っ子」発行） ○児童会活動 ○福祉教育（全学年が高齢者と交流） ○生活アンケート ○平和学習（原爆絵画展、折りづる集会） ○人権学習（映画鑑賞、ユニセフ週間） ○健康教育（歯科指導） ○スクールソーシャルワーカー・教育相談員を活用した児童理解

結果と今後の方策

6項目の内、昨年度より肯定的回答の割合が上がったのは、「子どもがまちがった行動をしたときは、指導してくれる。」「先生たちは子どもを理解してくれている。」「学校は、学校や社会でルールを守る態度を育てている。」「学校は、命を大切に作る心や、思いやりの心を育てている。」の4項目で、「子どもの心身の健康について、先生に相談できる。」「学校はいじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。」の2項目は下がりました。特に、いじめの項目が下がったについては、重く受け止めております。一昨年度から吹田市内小・中学校で、「いじめ予防授業」に取り組んでいることや、いじめは決して許されない行為であるということ、「いじめ予防授業」だけでなく、日々児童に話して指導しておりますが、その状況を学校として、もっと積極的に発信すべきだったと反省しております。来年度以降も未然防止に向けた授業や指導は継続してまいります。そのことを学校が保護者や地域の皆様に今年度以上に発信し周知する中で、ご理解いただきたいと思います。今後も児童の豊かな心の育成に向け、より一層取り組む所存です。

④学習環境・危機管理（質問項目16～18）

具体的な取り組み

○防犯・薬物・非行防止教室 ○避難訓練（不審者、風水害、火災、地震） ○メール配信 ○校内安全点検 ○機械警備開始 ○正門昼間警備員 ○地域・保護者協力（見守り隊、子ども110番の家、青パト、校区・校内パトロール）

結果と今後の方策

3項目の内、「地震や台風などの場合の登下校の対応について、児童や保護者に知らされている。」は肯定的回答が97.5％で全19項目中一番高く、「教職員や地域の人達の活動で、児童の安全がより確保されている。」も91.7％と昨年度とほぼ同じく、高い評価をいただきました。これは、学校ホームページに掲載している「地震や台風などの場合の登下校の対応」を確認していただいている結果だと推察します。また、「学校の施設・設備は学習環境面ではほぼ満足できる」の項目は、昨年度は肯定的回答が73.9％と全項目中一番低い評価でしたが、今回は7.6％上がり81.5％となりました。学童の校舎の新設、全教室のエアコン設置、特別教室全てがLED化となったことなどが、数値の反映されたものと推察しております。また、PTAの登下校時の見守り活動や青パトの巡回については、今年度も児童のために実施して下さっています。保護者や地域関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

⑤楽しい学校づくり（質問項目19）

具体的な取り組み

○学校行事（運動会、校内音楽会、校外学習、宿泊学習等）○児童朝会、山二まつり、遊び交流○地域・PTAの協力連携による行事・活動、太陽の広場○かけあし、なわとび、給食、読書、ユニセフ週間

結果と今後の方策

今年度はコロナ前の形で学校行事を実施することができました。「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」という項目においては、昨年度より1.5％下がったものの、88.9％の肯定的回答をいただきました。また、現時点で長期にわたる不登校児童がいないことについては、日頃からの保護者の皆様のご協力とご理解の賜物だと感謝しておりますが、今年度1.5％下がったことについては、「学校に行くのを楽しみにしていない」お子さまの存在を重く受け止め、子どもたち全員が、「明日も学校に行きたい」と思えるような学校にするため、授業の改善、行事の工夫、仲間づくり、児童と教職員の信頼関係づくりなど、一層努力してまいります。

～児童向けアンケート結果～

①学校生活

質問項目

○学校行事は楽しい。○児童会活動は楽しい。

結果と今後の方策

「学校行事は楽しい」の項目については、肯定的に回答した児童がどの学年も下がりました。(低 91.8%、中 80.9%、高 94.6%)ただ、低学年は0.8%、高学年は2.3%ほどの減少なので、昨年度と大きく下がった訳ではありませんが、中学年については15.3%も下がりました。今後はその原因を検証し、来年度に生かしてまいりたいと考えております。学校行事を終えた際に、児童が「楽しかった」「やって良かった」と達成感を味わわせられるような、指導・支援を行ってまいりたいと考えております。

「児童会活動は楽しい」の項目は、昨年度は4.5%、今年度は1.0%と毎年上がっております。(高 89.1%)現在は、コロナ渦で制限されていたようなことは全くありません。クラブや委員会活動、児童会行事などを、友だちと力を合わせて、楽しく活動できていることがわかりました。

②授業

質問項目

○授業は楽しい。○授業はわかりやすい。○授業や(グループ学習)でよく発表する。○授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある。○少ない人数で学習するほうがわかりやすい。

結果と今後の方策

「授業のわかりやすさ」の項目は、昨年度に比べ、肯定的回答が低学年は3.5%上がりましたが、中学年は9.8%、高学年0.1%下がりました。(低 88.3%、中 76.4%、高 90.5%)今年度も昨年度同様、授業の中で情報機器を活用したり、学校図書館の本を積極的に活用しながら授業に取り組んだり、また、全学年が研究授業に取り組み、その考察も行うなど、授業研究を継続してまいりました。しかし、全学年ともアップするところまで至りませんでした。来年度もわかりやすい授業を目指して、さらに教職員研修を積んでまいります。

また、「授業中に積極的に発表する」の項目につきましては、昨年度に比べ、肯定的回答が低・高学年は4～8%上がったものの、中学年は17.2%下がりました。(低 60.8%、中 44.4%、高 81.0%)この中学年の結果を重く受け止め、児童が自ら考え、積極的に発表する授業づくりに今後もより一層努めてまいります。

③先生や友だち

質問項目

○授業でわからないことは先生(や友だち)に聞くことができる。○先生はがんばったとき(や努力したとき)にほめて(認めて)くれる。○先生は私たちの意見や話を聞いてくれる。○学校には話を聞いてくれる(相談できる)先生がいる。○学校には話を聞いてくれる(相談できる)友だちがいる。

結果と今後の方策

「先生は私たちの話を聞いてくれる」の項目は、昨年度に比べ、肯定的回答が中学年は8.9%、高学年は6.3%下がりましたが、低学年は13.4%も上がりました。(低 93.6%、中 80.3%、高 92.5%)特に、中学年については、低・高学年と比べ、10%以上も低い結果となっております。その点を課題と捉え、児童と教員の信頼関係づくりに、より一層努めてまいります。

「学校には話を聞いてくれる友だちがいる」の項目は、昨年度同様、高い肯定的回答(低 96.5%、中 96.1%、高 91.2%)が得られ、その中でも特に低学年と中学年は、96%以上という非常に高い結果となりました。「学校に話を聞いてくれる友だちがいる」ということは前者の質問内容同様、児童が学校に行きたくなる原動力となることです。今後も教職員は高いアンテナで子どもたちを見守り、良好な学級づくりに努めてまいります。

④集団生活

質問項目

○学校でのルールを勉強している。○学校や社会のルールについて学習している。

結果と今後の方策

「学校や社会のルールについて学習している」の項目は、昨年度に比べ、肯定的回答が中学年は7.4%、下がりましたが、高学年はほぼ同数、低学年は15.8%も上がりました。(低 90.1%、中 83.7%、高 94.6%)低・中学年の児童には、道徳の授業や交通安全教室、防犯教室で、また高学年の児童には、それらに加え、非行防止教室、薬物乱用防止教室等で指導しており、今後も集団生活に関する指導を継続してまいります。ただ、今年度中学年下がった点を検証しながら、どの学年に対しても丁寧且つわかりやすい安全教育の実施に努めてまいります。

⑤命の尊さ・思いやり

質問項目

○命の大切さや人への思いやりを学習している。

結果と今後の方策

「命の大切さや人への思いやりを学習している」の項目は、昨年度に比べ、肯定的回答が高学年はほぼ同数、中学年は4.6%下がりましたが、中・高学年ともに90%以上の結果(中 91.6%、高 96.6%)となりました。特に高学年においては、飼育委員会でうさぎを世話している児童もいることから、この高い数値に繋がったものと考えられます。今後も引き続き、命の尊さや人に対する思いやりの気持ちを育てる授業を大切に、推進してまいります。

⑥危機・災害対応

質問項目

○地震や火災などが起こったとき、どうしたらよいか教えてもらっている。

結果と今後の方策

「地震や火災などが起こったとき、どうしたらよいか教えてもらっている」の項目は、一昨年度は92.1%、昨年度は96.9%と上がりましたが、今年度は3.7%下がってしまいました。(高 93.2%)今年度は、集団下校や引き取り訓練、火災・地震避難訓練だけでなく、不審者避難訓練も実施しました。来年度も今年度同様、児童の安全に対する危機管理意識が高まるよう、種々の訓練を実施してまいります。

⑦地域行事

質問項目

○地域の行事に参加することがある。

結果と今後の方策

この項目については、毎年アンケートの項目として記載しておりましたが、一昨年度・昨年度と地域行事が本来の形で実施できず、また今年度も一部の地域行事が従来通り形で実施されなかったため、この項目は省かせていただきました。来年度はおそらく従来の形で実施できると思われますので、この項目を入れて実施したいと考えております。地域の皆様、今後どうぞよろしく願いいたします。

※ お気づきのこと、ご意見などいつでも気軽に学校にお寄せください。
※ この集計結果とアンケート結果(グラフ)は、学校ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。